

平和行政について市の関係機関と懇談 11/21

土浦平和の会・ポッポの会・茨城県平和委

土浦平和の会は、全県で進められる予定の平和キャラバンの一環として、先ほど市長宛に「平和行政に関する調査並びに平和行政推進の要望書」を送付しましたが、11月21日に高橋助役、青山総務課長、折本副参事、菅沢教育指導課長、広報公聴課中川課長、杉田主査の出席のもと、1時間余り懇談をしました。当日参加したのは、平和の会から齊藤代表理事、久保田理事、小澤理事、井上事務局長と茨城コープ平和グループポッポの会から合田、井上町の2名、並びに茨城県平和委員会の理事長、事務局長の8名でした。あらかじめ提出しておいた質問状に沿って回答をもらい、関連事項について要望を出し合う形で懇談が行われました。質問状の項目は次の9項目です。

- 1, 非核平和都市宣言を行った年月日は・・・昭和63年（'88年）3月22日
- 2, 平和憲法の木（メタセコイア）の植樹は何時か・・・平成8年（'96）11月22日
- 3, 広島での平和祈念式典に市民代表を何時から送っているのか・・・
平成6年（'94）から派遣している。11年からは各中学校代表と青年層、婦人層などから選ばれた市民代表12名を送っている。団結式を行って、事前学習をしている。長崎への派遣は今のところ計画していない。
- 4, 平和に関する写真展、パネル展はどのように行われているのか・・・
平成5年から7カ所の公民館のうち、年2カ所ずつ順番に原爆写真展を行っている。
- 5, 市内の戦跡保存と関連して、平和に対する意識高揚にどう取り組んでいるのか・・・
非核平和宣言都市の三角柱を公民館、出張所等の公共施設に設置している。また、広島での平和祈念式典に折り鶴を送ろうという意見が出て、各中学校からの代表が千羽鶴を持ち寄っている。
- 6, 小中学校における平和教育はどのように行っているか・・・
社会科の中の憲法・平和の項や国語科の平和の詩、小説など各教科の中での取り扱い、児童会生徒会のJRC、福祉活動などを通じて行っている。戦争体験者の高齢化によって、体験談を聞くというようなことが困難になっている。
- 7, 平和行政ではその他にどんなことをおこなっているか・・・
平和予算は広島への派遣も含めて70万円。募金、ボランティアなどもある。
- 8, 日米防衛協力のための指針見直しによって、土浦市ではどのような協力が必要になるか、政府からどのような説明を受けているのか・・・
「解説」は国からきているが、どういう要請が来るのか測りかねている。そのような事態にならないことを願っている。
- 9, 自衛隊ヘリコプターの編隊飛行や夜間訓練の騒音に対する自治体の対応はどうなっているか
いままで苦情は来ていない。夜間訓練は以前から行われていた。市民の要求が現実的なものであるかどうか・・・

なお、図書館に平和図書のコナーを。憲法の木をもっと知らせる方法（広報誌での紹介や説明板設置など）などの要望も出されました。

文責 事務局 井上



行事ごよみ

- | | |
|--------|----------------------|
| 12・1/3 | 日本平和大会 in 沖縄（小澤さん参加） |
| 11・15 | 平和委対県交渉（百里基地拡張問題） |
| 12・9 | 平和のつどい（4中地区公民館） |
| 11・21 | 市との懇談（土浦市役所） |
| 12・17 | 県平和委常任委（水戸平和会館） |